

2014 年度前期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 手塚 公 登

前期大学院の授業評価の結果は、学生の予習・復習以外のすべての項目で平均値が4.5以上で、きわめて高いレベルにあると思われる。ただ、ごく少数ではあるが、項目によっては低評価をつけている学生もみられるので、そうした学生へのきめ細かい配慮が望まれる。大学院の授業は、少人数で行われ、自らの専門に近い科目を選択するので、総体的に高い評価が与えられるのは、ある意味当然のことかもしれないが、今後ともこうした高い評価が維持できるよう教員が努力を継続していく必要がある。